
開講科目名：金融論研究 (4単位)
開設年次：1年 2年 3年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：野村 重明

《授業の概要》

授業の目標

本講義では、金融ビッグバンを経て大きく変革しつつある日本の金融システムをいくつかの側面から考察することによって、その変革の内容、特徴、問題点、深さ、方向性を明らかにし、現代の日本の金融をみる場合に必要な専門的知識の修得を目指す。

授業の内容

- 1 金融の自由化
 - (1) 銀行規制
 - (2) 銀行規制の緩和
 - (3) 金融ビッグバン
 - (4) その後の自由化
 - (5) 金融商品取引法制定の経緯とその内容
- 2 不良債権問題
 - (1) 不良債権とは何か
 - (2) 不良債権の現況
 - (3) 不良債権の処理策
- 3 銀行破綻と破綻処理
 - (1) 銀行破綻の状況
 - (2) 発生メカニズム
 - (3) セーフティネット
 - (4) 破綻処理の問題点
- 4 金融の大きな流れーその1・証券化
 - (1) 金融の証券化の2類型
 - (2) アメリカの証券化
 - (3) 日本の証券化
- 5 金融の大きな流れーその2・デリバティブ
 - (1) デリバティブとは何か
 - (2) デリバティブの市場規模
 - (3) スワップ取引
 - (4) 先渡・先物取引
 - (5) オプション取引
- 6 日本の通貨供給
 - (1) 現金通貨と預金通貨
 - (2) 信用創造
 - (3) 貨幣外生説と貨幣内生説
- 7 BIS規制
 - (1) BISとは
 - (2) BIS規制の歩み
 - (3) 1988年合意の概要
 - (4) BIS規制の日本への適用
 - (5) 新BIS規制

【評価方法】

レポートの内容および出席状況により評価する。

《テキスト》

なし

《参考書》
なし